（別添資料１）

事業所名　and　こころ 大府(放課後等デイサービス)

支援プログラム（参考様式）

作成日　2026 年　9 月　1 日

法人（事業所）理念	どんなに重い障がいを抱えていても、誰もが地域の中で普通に暮らしていけるように、障がいのある人もない人も共に育ち歩んでいく」										
支援方針	様々な体験活動を通して、自分自身が好きなことを見つけ楽しく生活する術を身に着ける。 将来を見据えて、各々の「強み」を引き出していきます。										
営業時間	平日　13 土・夏季休暇・冬季休暇　10	時	30 00	分から	17 16	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし	
	支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	◎心身の健康状態の把握および維持、日常生活動作(ADL)の獲得と向上に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・家庭および学校からの引継ぎ、事業所来所時の表情およびバイタルを確認し、健康管理を行います。 ・児童発達支援の利用時とは異なる生活の流れを理解し、学校後の時間をリラックスして過ごせるよう環境を整えます。										
	運動・感覚	◎身体機能の維持・向上および手先の機能向上に繋がるよう取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・機能訓練士(PT)が毎月目標設定と評価を行います。 ・将来の仕事を見据え、課題(キャップはめ課題、色分け課題、PC打ち込み等)に取り組み、手先の機能向上を目指します。 ・個々の強みと好きなことを取り入れたアート活動を行います。絵の具に触れたり、色々な画材および素材に触れることで感覚を刺激します。										
	認知・行動	◎将来を見据えた小集団、社会での行動の取り方を学べるよう取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・1日の流れに見通しがもてるよう、視覚的な工夫(スケジュール、ホワイトボードの活用)を行います。 ・ボーリング、リレーゲーム、宝探しゲーム等、小集団で協力をして行う遊びを通して、簡単なルールを守って楽しむことを身につけます。										
	言語 コミュニケーション	◎数字、文字、記号の理解、自分の気持ちを表現する力の獲得に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・人の話を最後まで聞いたり、自分の思ったことを言葉およびコミュニケーションツールを使用して伝えたりして、職員および他利用者とのやりとりを楽しみます。 ・1人ひとりに合わせたコミュニケーション手段の提案を行います(例:言葉でのやりとり、指差し、ハンドサイン等)。 ・時計を見ながら次の活動への見通しをたてたり、日常生活で使用する記号の勉強を行います(トイレマークの認知、散歩時に信号を意識する等)。										
	人間関係 社会性	◎仲間づくりと他者集団への参加、順番とルールおよび役割の認識、社会とのつながりを大切にして支援に取り組みます。 ☆主な取り組み☆ ・小集団の中で、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりすることが行えるようサポートします。 ・外出日を通してお店の人と関わったり、近隣大学の学生と関わったりすることで、利用者の方の社会性を広めていきます。										
家族支援	・子どもの発達状況、特性理解に向けた情報提供を行います。 ・保護者同士の交流の場を企画します(防災訓練など)。 ・学びの場(法人主催講演会)を提供します。								移行支援	・法人内児童発達支援事業所と移行支援を丁寧に行います。 ・卒業後の就職先の情報提供を行います。 ・将来を見据えた目標設定、課題を実施します。	
地域支援・地域連携	・近隣大学と定期的に交流します。 ・ボランティア、実習生の受け入れを積極的に行います。								職員の質の向上	・正規職員向け職員研修の実施(月1回)、職員の勤務形態を問わない勉強会の実施(月1回)、全職員を対象とした社内研修の実施(年1回)します。 ・学会および各種研修への参加(参加補助制度あり)。 ・職員の研究に対する補助制度あり。資格取得のための補助制度あり。	
主な行事等	おやつ作り、調理実習、防災訓練、外出日(水族館、動物園、ショッピングモール、アウトレット等)、Takeoutday(お買い物体験)、季節のイベント(夏祭り、ハロウィンパーティ、クリスマス会、初詣等)、つむぎの展、ママ会(当法人利用者のママたちが集う会)、パパ会(当法人利用者のパパたちが集う会)、当法人主催特別講演会、法人全体運動会等。										